

木村 敏吉 （きむら びんきち） 物理學者。慶應二年十月江戸生れ、昭和十二年十月六日歿（一八六二—一九三六）。幕臣木村芥舟の次男。明治二十一年帝國大學物理學科卒。二十六年アメリカの留學をして電氣工學を學ぶ。三十年歸朝、第一高等學校教授となる。三十二年海軍に轉じ教授、技師。のち艦艇の無線設備制定に關與、白露戰争の無線電信網を成功させた。

著書に「物理學現今之進歩（卷之壹）」（明治二十二年四月十六日丙田老鶴圖）、「日本海軍初期無線電信史出談」（昭和十年九月海軍省教育司「思想研究資料」號外）等。